

平成25年度宮崎県（都城市）地方青少年銃剣道錬成大会

- | | | | | |
|---|------|-----------------------|---------|--|
| 1 | 期間 | 平成25年12月21日（土）～23日（月） | | |
| 2 | 開催場所 | 都城運動公園体育館 | | |
| 3 | 講師名 | [氏名] | [称号・段位] | |
| | 派遣講師 | 松田 健治 | 範士八段 | |
| | | 松本 栄一郎 | 範士八段 | |
| | 地元講師 | 佐藤 安一 | 範士八段 | |
| | | 吉本 正人 | 教士七段 | |
| 4 | 参加者数 | 21名（中学生5名、高校生16名） | | |
| 5 | 概要報告 | | | |

(1) 研修会経過

○ 九州各県の選手21名が参加し、都城運動公園体育館で開催された。派遣講師として長崎県より松田健治先生（範士八段）、熊本県より松本栄一郎（範士八段）をお迎えし、地元講師の佐藤安一先生（範士八段）、吉本正人先生（教士七段）とともに熱心な御指導をいただいた。また、各県選手を引率してこられた指導者も加わり御指導いただいた。



○ 前日打合せ会には、講師の先生方をはじめ、宮崎県公立武道館協議会 堀之内 砂男会長、都城市教育委員会スポーツ振興課 肥後信行課長、宮崎県教育庁スポーツ指導センター 大西敏夫所長（宮崎県公立武道館協議会理事長）、宮崎県銃剣道連盟 児玉慎二会長をはじめ、宮崎県教育庁スポーツ指導センターや都城市教育委員会スポーツ振興課の担当者、宮崎県銃剣道連盟の役員等が出席し、研修日程や指導計画、研修会における役割分担等について協議を行った。

○ 開会行事では、主催者及び主管団体のあいさつの後、講師の先生方から研修の目的や姿勢についてお話をいただいた。こども武道憲章についても読み上げられ、錬成大会で学ぶ意義について意識付けが行われた。



錬成大会は、基本技を中心に行われた。講師の先生方の基本を大切にされる姿勢が参加している各県の選手達にも伝わり、終始集中した雰囲気の中で練習が行われた。

南国宮崎とは言え、連日都城盆地特有の底冷えのする体育館の中で、素足で懸命に取り組む選手達の姿勢は素晴らしく、講師の先生方の指導もより一層熱が入ったようであった。

また、技術面だけでなく礼節についても講義を交えながら御指導していただき、終了後の清掃や防具等の整理整頓など選手達はあらためてその大切さを感じているようであった。



閉会行事では、派遣講師のお二人から各県の代表者に錬成証が授与され、錬成大会を通しての講評をいただいた。また、選手を代表し、宮崎県の大金幸斗選手がお礼の言葉を述べた。

(2) 日 程

期日	時 刻	指導・錬成課程 (予定している内容)
1 2 月 2 1 日 (土)	09:30~10:00 10:00~10:30 10:30~10:50 10:50~12:00 12:00~13:00 13:00~16:00 16:00~16:10 16:10	受 付 開会行事 講 話 基本技：構え、直れ、足さばき 直突、脱突、下突、連続突き 昼 食 応用技：攻め技、応じ技 清 掃 諸連絡・解散
1 2 月 2 2 日 (日)	08:45~09:00 09:00~09:30 09:30~09:45 09:45~10:45 10:45~11:00 11:00~12:00 12:00~13:00 13:00~16:00 16:00~16:10 16:10	受 付 講 話 準備運動 応じ技：反復錬成 休 憩 応用技：前後間の突き 昼 食 応用技：前後間の突き 質疑応答 清 掃 諸連絡・解散
1 2 月 2 3 日 (月)	08:45~09:00 09:00~09:20 09:20~10:20 10:20~10:35 10:35~12:00 12:00~12:20 12:20~13:00	受 付 準備運動 応用技：前後間の突き 休 憩 試合稽古： 第1、第2、第3、稽古 質疑応答 清 掃 閉会行事・諸連絡・

(3) 所 感

今回の錬成大会は、派遣講師ならびに地元講師の綿密な指導計画により丁寧な御指導と九州各県の指導者の支援も頂きながら実施することができた。今回の経験が各選手たちにとって大きな糧になることは間違いない。競技人口の少ない銃剣道においてその門戸を九州管内に開いていただくなどの御配慮いただいた(公財)日本武道館をはじめ、都城市教育委員会や宮崎県銃剣道連盟の関係各位に感謝したい。

